

令和8年度 まちづくりを考える日



グラウンドゴルフが結ぶ、 地域の絆と人のつながり

～笑顔がひろがる八束のまちづくり～

〈波入グラウンドゴルフ同好会〉



持続可能な地域づくりのしくみ

外部からの補助金や一時的なイベント等での参加だけに頼るのではなく、地域の日常活動として定着させることが、持続可能なコミュニティづくりの基盤になる

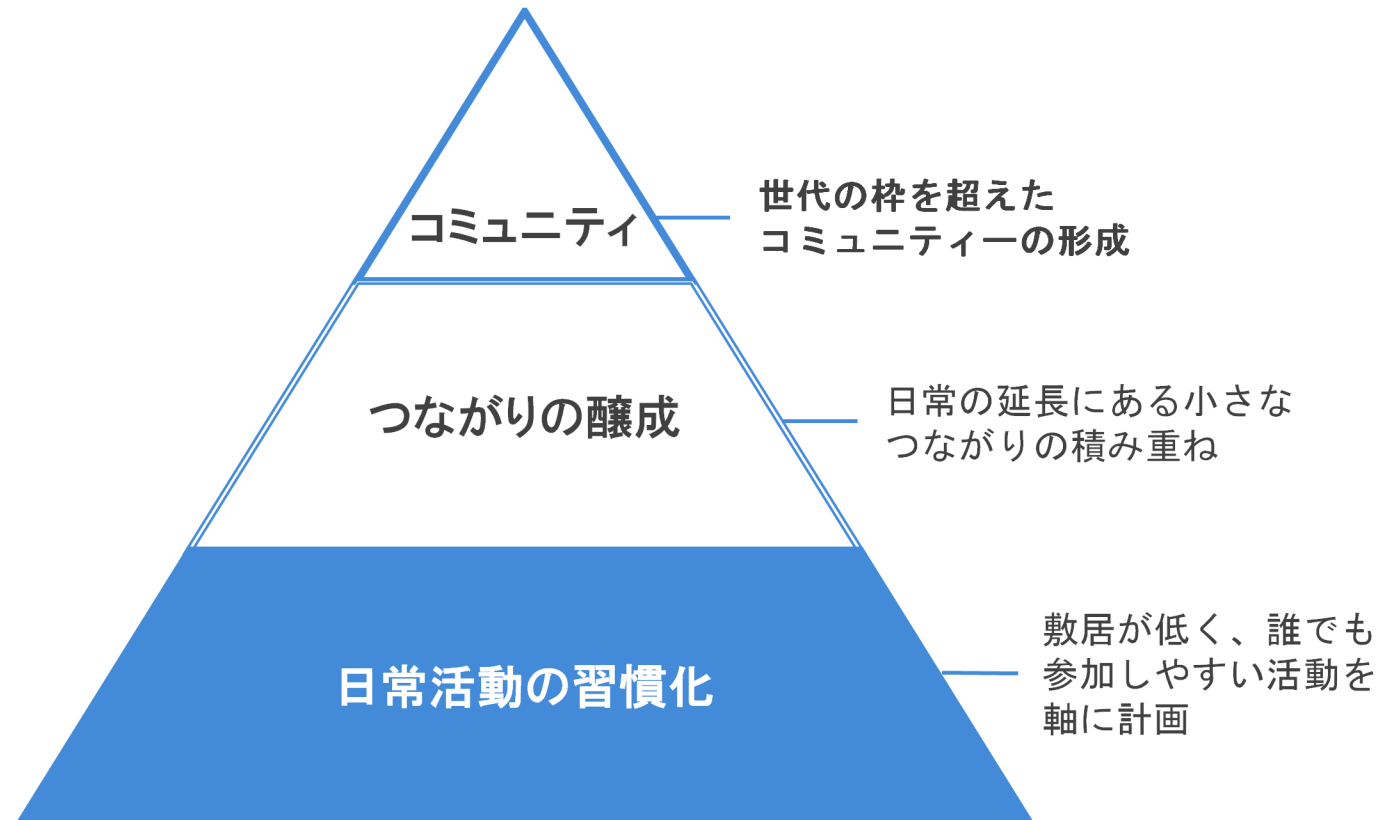
地域活性化のアプローチ対比

一時的なイベントなど
外部からの補助金などに依存



無理なく関わり続けられる
仕組みの積み重ね

既存の活動を「継続可能な形」へ育てていく



日常に溶け込む「参加の習慣化」

気軽にできる工夫が参加者の日常的な交流とコミュニティ維持の基盤になる

固定スケジュール

第1土曜、第2・第4日曜

開催日を固定し、生活リズムに組み込み
無理なく続けられる環境をつくる

ゆとりある競技

グラウンドゴルフ

年齢や体力関わらず、楽しみ、
ルールがシンプルで参加しやすい

低コスト設計

地域住民が気軽に
参加できる工夫

日用品の賞品

競技性より交流を重視(心理的ハードル)

高価な景品
日用品限定

ハードル低



地域コミュニティの基盤

日常に溶け込む
「参加の習慣化」

「その時間に行けば誰かがいる」
地域とのつながりと安心感を維持

波入ティッシュ大会（活動の様子）



受付



プレーの様子



表彰式



賞品

「地域貢献」と「交流」を融合した取り組み

クリーン八束（清掃活動年2回）との連携

清掃活動

達成感共有

大会・交流

- ・ 共通目的を果たす前後に大会を開催
- ・ 無関心層にも自然な形での参加を促進
- ・ 達成感共有直後で心理的距離を縮める

救護施設「新生園」との交流大会

参加者

地域住民の交流
(年1回開催)

入園者

- ・ 結果より「声かけ」「時間共有」を重視
- ・ 地域内での孤立を防ぐ役割
- ・ 顔見知りとなり温かな関係性をつくる

スポーツの枠を超え、地域課題の解決や社会貢献につながる活動の取り組みを展開

クリーン八束終了後の交流（活動の様子）

開会式



プレーの様子



波入地区G・Gと新生園の交流大会（活動の様子）



開会式



プレーの様子



表彰式



世代を超えたつながりと教育の融合

地域活動を通じた世代間交流がお互いに支え合う関係を育み、自然な助け合いが広がる地域環境づくり

参加を促す地域活動

小学校との連携

同好会役員によるクラブ活動指導

世代間交流会

小学生と町民の年 1 回交流

定期的な練習会

酷暑気を除く・初心者を受け皿
いろいろな年齢層が関われる機会

参加を促す地域活動

子ども

地域の大人の
顔を知る

大人

次世代との関わりが、
活動への意欲や生きがいに
つながる

地域全体の活性化

つながりに厚み

助け合い・声かけが
自然に行われる

地域づくり

小学生との交流（活動の様子）



成功のポイントと運営上の課題への向き合い方

参加ハードルを下げ、接点を増やすことで参加者の広がりにつながる一方、運営の固定化や負担増の課題には無理のない継続的な改善で対応していく

成功のポイント

1. 参加のハードルを下げる工夫 (参加等ルールの簡略化)

＊「誰でも参加できる」ハードルの低さを確保

2. 大会の習慣化(継続の仕組み化)

＊「いつ行っても参加できる場」を提供

3. 多様な接点の設計

＊清掃活動や学校教育など住民との関りの増加

地域全体の活性化

直面する課題

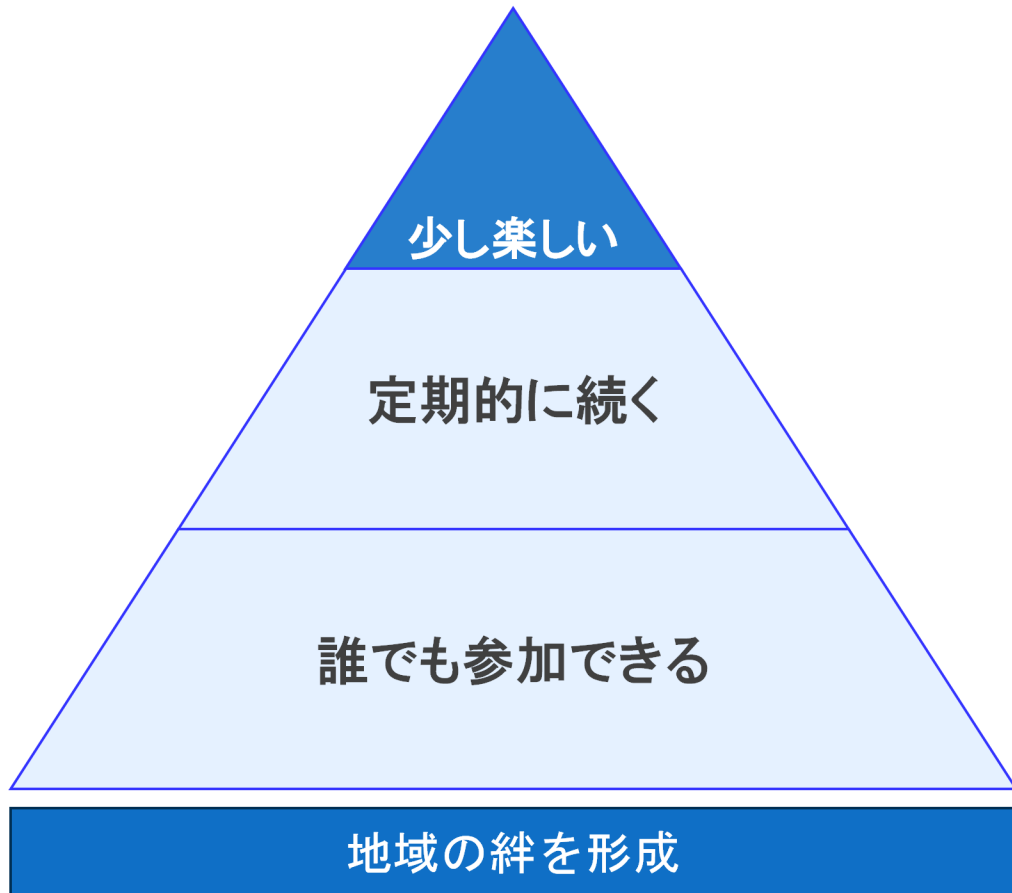
- ＊参加者の固定化
- ＊役員の負担の増加

対応策と方針

- ＊役割分担の定期的な見直し
- ＊新規参加者が入りやすい雰囲気づくり
(初めての方への丁寧なルールや説明や声かけ)
- ＊無理なく負担を感じすぎない範囲で改善を図る

持続可能な地域づくりのしくみ

外部からの補助金や一時的なイベント等での参加だけに頼るのではなく、地域の日常活動として定着させることが、持続可能なコミュニティづくりの基盤になる



地域づくりを耕すプロセス

STEP1 まずは小さな接点を一つ作る

STEP2 その関係を丁寧に耕していく

STEP3 地域の笑顔が広がっていく

STEP4 確かなつながりと絆の形成

八束地区が今後目指すもの

★八束地区の人と人のつながりづくり



世代間交流
参加者同士の親しい関係づくり



高齢者の生きがい対策



要配慮者支援に役立てる
災害時等の支援に役立てる

八束地区のまちづくりに貢献

ご清聴
ありがとうございました

